

県内 15 大学による授業連携、単位互換

岡山理科大学

県内 15 大学の連携による「岡山オルガノン」では、大学の特色を生かしつつ学士力、社会人基礎力等の向上を目指した e ラーニングによる教育共有の連携に取り組んでいる。

(平成 21 年度 文部科学省戦略的学外連携支援プログラム)

1. 背景と目的

岡山県下 15 大学では、産学官連携で大学コンソーシアム岡山を設置し平成 18 年から活動を開始しているが、各大学が個別に実施している優れた取組を大学間で連携共有し、地域活性化の担い手となる人材育成に資する総合的教育充実事業「岡山オルガノン」を構築し、連携教育に取り組んでいる。

2. 連携の規模

参加大学 岡山県 15 大学 ※科目数 双方向ライブ型 13 科目、VOD 型 22 科目
受講生数 440 名

3. 連携の内容

岡山オルガノンでは、県内 15 大学が e ラーニングシステムを用いた教育共有化の取組を進めているが、岡山理科大学では代表校として大学教育連携センターを設置し、コーディネーターを含む 4 名の職員と学外連携推進室が連携して事業を推進している。ビデオオンデマンド型遠隔教育では、加計教育コンソーシアムでの実績をもとに遠隔教育の実現に取り組み、連携大学からの科目提供を得て、平成 22 年度後期 3 科目、平成 23 年度前期 6 科目、平成 23 年度後期に 12 科目の講義「配信を行うなど本事業の代表校として、学長を始めとした事業運営体制を構築し、積極的に事業推進を実施している。

4. 連携の効果

平成 23 年度までの取組みを通じて、連携評価委員会では主に以下の成果を報告している。

- ① 連携大学間の人的交流が増え、岡山における大学連携、教育の共同実施が実現できた。
- ② 遠隔教育での単位互換教育が実現し、2 年間で 33 科目（年間）を配信し、平成 23 年度には延べ受講者が 440 名に達した。
- ③ 遠隔教育の提供に直接かかわった教員数が 50 名に達し、教育の共同実施が実現できた。
- ④ 遠隔教育のインフラ整備が大きく前進し、今後の事業継承の構想がまとまった。

5. 今後の課題

平成 22 年度後期より遠隔教育が始まり、配信科目数は増えたが、各連携校の遠隔教育への理解度はまだまだ十分とは言えず、より一層受講者増加に向けた広報活動を行う必要がある。また、受講者を多くするためには、受講者数制限撤廃や各大学における単位互換単位認定の学則整備が望まれる。

本事業終了後の事業継承の検討が本格的に始まっているが、大学コンソーシアム岡山の連携において、システムの管理、運用、維持体制を固め、岡山県内の大学教育活性化に向けて確固たる事業推進を行う必要がある。



岡山オルガノン 15 大学単位互換
2012 年度 単位互換履修生募集!

